

申請書の書き方

様式第2 (第6条関係)

埼玉県収入証紙等貼付欄

◆ 第二種電気工事士免状交付申請に伴う手数料は、5,300円です
注) 日本政府の「収入印紙」を用いて手数料を納付することはできません

電気工事士免状交付申請書

年 月 日

埼玉県知事

申請者

〒 -

住 所 _____

電 話 _____
(フリガナ)

氏 名 _____

生 年 月 日 _____ 年 月 日生

電気工事士法第4条第2項の規定により第二種電気工事士免状の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

免状に記載する氏名 楷書でお書きください

住民票等に記載された旧姓・通名が使えます。必ず、フリガナを記入してください。「同上」とは書かず必ず記入してください。

(フリガナ) _____

(氏名) _____

◎ 電気工事士免状を 受ける資格	1 第二種電気工事士試験合格
	2 養成施設修了
	3 認定
※ 経 過 欄	※ 受 付 欄

(備考)

1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 ◎印欄は、該当する事項を○で囲み、これを証明する書類を添付すること。
3 ※印欄には、記入しないこと。
4 この申請書に、住民票等及び顔写真(この申請書を提出する前6か月以内に撮影した縦4cm、横3cmのもので、裏面に氏名を記入したもの。)を添付すること。

免状の送付先

〒 -

手数料を「埼玉県収入証紙」で納付する場合は、この枠内に貼り付けてください。
キャッシュレス決済で納付する場合は、何も貼り付けないでください。
※日本政府の「収入印紙」を用いて手数料を納付することはできません。

◆住所
「住所、氏名及び生年月日を確認するのに足りる書類」(住民票や運転免許証)に記載されている「住所」を記入してください。

◆電話
日中に連絡の取れる「電話番号」を記入してください。

◆フリガナ
記入漏れに注意してください。

◆免状に記載する氏名
「住所、氏名及び生年月日を確認するのに足りる書類」に記載されている字を使います。

- ・免状に記載する氏名に「旧姓等」を用いたい場合は、この記入欄の氏名を必ず「旧姓等」にしてください。
- ・「住所、氏名及び生年月日を確認するのに足りる書類」で確認できる場合は、免状に記載する氏名を「旧姓等」で交付します。

◆電気工事士免状を受ける資格
第二種電気工事士試験に合格し免状交付を申請する場合は、「1」を丸で囲んでください。
養成施設を修了したことにより免状交付を申請する場合は、「2」を丸で囲んでください。

◆免状の送付先
免状は、申請者の住所へ、簡易書留で発送します。
「職場の方が受け取りやすい」などの理由で、申請者の住所と異なる場所で免状を受け取りたい場合は、記入してください。